

2016/9/28～30

石巻（第二ひたかみ園）～

女川～名取支援学校訪問記

今年も9月28日～30日の3日間、いつものFBM研究会メンバー3人（安田知子、白井愛子、大島）に、岩本浩弥さんも加わって4名で5回目の仙台訪問へ行ってきました。

岩本さんは、大阪教育大学の後輩でFBM研究会の事務局をしてくれています。身体のハンディはあるのですが、ラグビーでも去年までファイト溢れるプレーをしていました。毎年みかた残酷マラソン（高低差600m、24kmのうねりコース）に出場していて12回目になります。完走最高記録は11時間32分、すごいです・・・100キロマラソンのタイムみたいですが(笑) 毎年応援が増えていて、「15回めざしてチャレンジする」そうです。

28日、関空から peach 始発便に乗り込んで、初めてトラブルなしで無事仙台空港着。午前中は、社会福祉法人石巻祥心会「第二ひたかみ園=Sora=」に2回目の訪問。心待ちにしてくださった方もおられて、個々に合わせたFBMがスタート。皆さんいい表情でリラックスして楽しんでくださいました。空気を少なくした小さいボールをあずま袋*に入れて、車いすや日常生活の過ごし方に役立つ方法も紹介してきました。

*あずま袋=日本の伝統美の袋・「あずま袋の作り方」で検索できますよ。

石巻支援学校の卒業生、伊勢知那子さんに会えて嬉しかったです。いろんな姿勢にもトライして、うつ伏せも体験してもらいました。また来年も元気に会いたいです！

FBMの種まきを続けてきて、少しずつですが、芽が出始めていて良かったです。

午後からは、昨年に続いて、女川港を訪ねてきました。女川に向かう国道沿いには仮設住宅が200m以上並び、普通の生活への長い道のりと厳しいの現実の一端を感じました。

女川港～庁舎の変貌ぶりに驚愕した昨年でしたが、女川港はまた大きく復興していました。国道沿いには仮設住宅が並び、町営の温浴施設「女川温泉ゆぽぽ」に岩本さんと一緒に入浴。ほっこりさせてもらった後、駅舎隣の女川フューチャーセンターを訪問。担当の方とも少し話が聞くこともできました。

先週に行われた「女川さんま収穫祭」には4万人を超える多くの方々が来てくださり、大盛り上がりでした。ただ、「普段は観光客もすくなくて、女川はずーと走り続けられないです！」と正直な感想を聞いて、「そうなんやあ！」と改めて気付かされました。

続いて、駅周辺の集合型商業エリア、地域交流センター、物流センターを見学。見事にモダン？に返信した女川港でした。埋め立て工事はさらに進み、高台には新築家屋の工事も始まっていました。

地域交流センターには、震災前後の写真から現在までの復興の様子が記されていました。やはりその場所に行かないと感ずることができない空気や時間の流れ、貴重な情報等を得られることを実感してきました。

「つながる図書館」も訪問。震災直後に行かせてもらった「ちゃっこい絵本館」が、「つながる図書館」へと発展、継続され、充実した内容になっていたことも嬉しかったです。

夜は仙台市内のホテル泊。ホテルに着くまで、仙台市内を迷走1時間！ほっとひと眠り。

2日目、3日目は、昨年同様名取支援学校訪問。小学部から中学部の子どもたちに、マンツーマンのFBMの体験。「心身の緊張をほぐす。身体のバランスを保つ。体幹を鍛える。」などのねらいに沿って、子どもたちと一緒にFBMを楽しみました。初日の放課後には、先生方対象に、FBM体験会もできました。先生方も積極的に参加くださり、もっと学びたいとの希望もいただき、次につながる期待が持てたのが嬉しかったです。

2日目の秋保温泉の宿も2回目、温泉を満喫できました。料理は食べ過ぎに注意ですが。

今回もいろいろな計画と調整、案内をしてくださった松平先生はじめ、名取支援学校の皆様、本当にありがとうございました。

第二ひたかみ園と名取支援学校に、エンジェルクリアファイルや絵葉書の協力金から、今年はラブリーボールと手作りあずま袋を贈りました。熊本地震の支援に活用しましたのでわずかになってしまいましたが・・・。

訪問の度に、出会った人たちとのつながりが深まり、広がって行くのがあるがたいですね。

p s 昨年の訪問時に思い立った「いのちの石碑プロジェクト応援」の活動がスタートしています。11月26日のチャリティーコラボコンサートの成功に向かって努力中です。

◇FBM 研究会のホームページに、コンサート案内が載っています。参加連絡お待ちしております！

2016年10月吉日

文責 大島昇

< 女川港訪問スナップ >



国道沿いの仮設住宅



女川フューチャーセンター（女川駅横）



地域交流センター



震災〜復旧へのあゆみの説明



東日本大震災慰霊の碑



ちやっこい絵本館〜

つながる図書館



埋め立て前の道路と高台の建物



女川いのちの石碑